

平成22年度事業報告

1 運営管理

(1) 理事会及び総会

理事会及び総会を以下のとおり開催した。

- ① 平成22年度第1回通常理事会（平成22年5月31日（月）16:00～16:30）
場所：東京大学山上会館 会議室001号 東京都文京区本郷7-3-1
議題：1) 平成21年度事業報告
2) 平成21年度決算報告
3) 一般社団法人への移行について
 - ・定款の変更の案
 - ・諸規程の改定案
 - ・移行認可申請について
- ② 平成22年度第1回通常総会（平成22年5月31日（月）16:30～17:00）
場所：東京大学山上会館 会議室001号 東京都文京区本郷7-3-1
議題：1) 平成21年度事業報告
2) 平成21年度決算報告
3) 一般社団法人への移行について
 - ・定款の変更の案
 - ・諸規程の改定案
 - ・移行認可申請について
- ③ 平成22年度第1回臨時理事会（平成22年8月25日（水）11:00～11:30）
場所：社団法人国際環境研究協会 会議室
議題：一般社団法人定款変更の案の修正について
- ④ 平成22年度第1回臨時総会（平成22年8月25日（水）11:30～12:00）
場所：社団法人国際環境研究協会 会議室
議題：一般社団法人定款変更の案の修正について
- ⑤ 平成22年度第2回通常理事会（平成23年3月18日（金）13:30～14:00）
場所：東京大学山上会館 会議室002号 東京都文京区本郷7-3-1

報告事項 一般社団法人移行認可申請の答申について

- 議題：1) 平成23年度短期借入金（案）
2) 平成23年度事業計画（案）並びに収支予算（案）
3) 一般社団法人定款の変更（案）について

⑥ 平成22年度第2回通常総会（平成23年3月18日（金）14:00～14:30）

場所：東京大学山上会館 会議室002号 東京都文京区本郷7-3-1

報告事項 一般社団法人移行認可申請の答申について

- 議題：1) 平成23年度短期借入金（案）
2) 平成23年度事業計画（案）並びに収支予算（案）
3) 一般社団法人移行後最初の役員の選任について（案）
4) 一般社団法人定款の変更（案）について

（2）企画総務部会

組織及び運営全般に関する検討事項を審議するため、以下のとおり企画総務部会を開催した。

① 第1回 平成22年5月26日（木）17:00～18:00

場所：社団法人国際環境研究協会 会議室 東京都台東区上野1-4-4

- 議題：1) 平成22年度第1回通常理事会・総会の議案について
2) 平成22年度業務受注状況について

② 第2回 平成23年3月15日（火）17:00～18:00

場所：社団法人国際環境研究協会 会議室 東京都台東区上野1-4-4

- 議題：1) 平成22年度第2回通常理事会・総会の議案について
2) 平成22年度決算見込みについて

2 自主事業

（1）情報交流推進に関する事業

① 学会会員の募集

平成21年度に引き続き、学会会員を募集した。平成23年3月末の学会会員数は、72名である。

② 会誌の発行

平成21年度に引き続き、情報交流部会に編集委員会（委員長：樋口広芳（東京大学大学院教授））を設置し、以下の会誌を作成するとともに、国内外の大学、研究機関、国際的研究計画事務局、協会会員などに配布した。

1) 和文誌「地球環境」Vol.15 No.1

テーマ：暮らしの中の土壌と土壌汚染

2) 和文誌「地球環境」Vol.15 No.2

テーマ：窒素汚染と大気・水環境

3) 英文誌「Global Environmental Research」Vol.14 No.1

テーマ：Desertification Control and Restoration of Ecosystem Services in Northeast Asia

4) 英文誌「Global Environmental Research」Vol.14 No.2

テーマ：Education for Sustainable Development : Promises and Challenges

なお、上記会誌並びに続刊号のテーマ及び内容を検討するため編集委員会を、以下のとおり開催した。

第1回委員会 平成22年 4月 2日

第2回委員会 平成22年 7月 9日

第3回委員会 平成22年10月15日

第4回委員会 平成23年 1月21日 計4回

③ 国際環境研究協会ニュースの発行

法人会員、個人会員、学会会員向けに、「国際環境研究協会ニュース」第166号～第177号を作成し送付した。

④ 会員に対する情報提供事業

法人会員、個人会員に対し、協会が入手した国立環境研究所ニュース等の資料を送付した。

(2) 調査・共同研究に関する事業

① 地球環境保全委員会

地球温暖化・砂漠化などの地球的環境問題、循環型社会形成など幅広い環境問題に関して、環境省をはじめとした各関係機関の施策の動向に関する情報を収集した。

② 感覚環境委員会

感覚環境に関して国内外における関連情報の収集を行うとともに、受託事業に係る、「五感で楽しむまち大賞/写真大賞」の取組・作品募集及び「五感で楽しむまちフォーラム」の参加募集に関する広報支援を行った。

(3) 広報事業

平成21年度に引き続き、以下の事業を実施した。

- ① 協会パンフレットの更新及び配布
- ② 協会ホームページの更新

3 受託事業

環境省

(1) 国際交流研究事業

① エコ・フロンティア・フェロー受け入れ

外国人研究者3名の日本国内での研究支援業務（入国手続き、身元保証、住宅・家具手配、生活費・家族手当支給、渡航旅費支給等）を実施した。

フェロー名簿及び受入機関

NO	国籍	フェロー氏名	受入研究機関
1.	韓国	Kyoungwon CHO	(独) 国立環境研究所
2.	インド	Anoop Kumar MISHRA	総合地球環境学研究所
3.	インド	Aashish DESHPANDE	(独) 国立環境研究所

② 研究成果報告会の開催

平成23年3月16日（水）に開催予定だった受入研究者の研究成果報告会は、東日本大震災の影響により中止となった。

(2) 環境研究総合推進費研究管理・検討事業

環境研究総合推進費の運営にあたり、研究分科会ごとにプログラムオフィサー1～2名、計7名を配置し、さらにこの7名の中から全体を総括する総括プログラムオフィサー1名を選出し、以下の業務等を実施した。

①プログラムオフィサーによる研究管理業務

- 1) 各研究課題の詳細と研究費管理上の実務の理解
- 2) 平成 23 年度研究費について、各課題代表者が作成する財務省実行協議用資料の研究計画の確認
- 3) 「アドバイザーボード会合」への出席と議事要旨の報告
- 4) 研究の進捗状況の把握
- 5) 評価結果の次年度研究計画反映に関する課題代表者への指導・助言
- 6) ⑤の報告書原稿及び⑦推進費パンフレット原稿の確認
- 7) 課題代表者から入手した研究成果の発表・普及情報について、プレスリリース・謝辞等に推進費による成果であることの記載・言及の確認
- 8) 課題代表者・課題参画者等からの問い合わせへの対応
- 9) 研究進行上の問題点についての環境省担当官との協議

②環境研究企画委員会第1～5研究分科会の運営

- 1) 研究分科会委員の委嘱に関する手続き
- 2) 事前・中間・事後評価専門部会委員の委嘱に関する手続き
- 3) 中間評価・新規採択のためのヒアリング実施にかかる研究分科会の開催
- 4) 委員への旅費、謝金、書面審査委員への評価謝金の支払い
- 5) 開催に当たっての、環境省、各委員との連絡調整
- 6) 会議費等の支給、配布資料の作成、会場の確保等
- 7) 環境研究企画委員会の資料作成補助及び出席

③ 平成 23 年度新規課題公募に関する支援業務

I 平成 23 年度環境研究総合推進費

- 1) 科学雑誌等の発行物及び WEB 上の掲示板、関連学会誌及びホームページ等に新規課題公募に関する情報の掲載依頼
- 2) 第 1 次審査（書面審査）の補助業務
 - ・審査委員の選定
 - ・各審査委員への審査の依頼及び応募用紙一式の審査委員への発送
 - ・委員による評価結果のとりまとめ・集計
 - ・第 2 次審査委員の選定・評価結果の報告
- 3) 第 2 次審査（ヒアリング）にかかる業務

- ・各委員及び環境省との日程調整
- ・委員会配付資料の作成補助
- ・会場設営及び後片付け
- ・委員の評価結果の集計及び浄書
- ・議事録の作成

II 平成 23 年度地球環境等保全試験研究費

1) 地球環境等保全試験研究費関連業務

- ・書面評価にかかる補助業務

2) 公害防止等試験研究費関連業務

- ・書面評価にかかる補助業務
- ・事前ヒアリング評価にかかる業務

④ 継続課題の中間評価及び終了課題の事後評価に関する支援業務

I 環境研究総合推進費

1) 書面評価補助業務

- ・審査委員の選定、各審査委員への審査の依頼及び中間成果報告集又は成果報告書用原稿の審査委員への発送
- ・委員による評価結果のとりまとめ・集計
- ・中間評価対象研究課題に関する評価集計結果の環境省への報告
- ・地球一括計上による研究課題の事前・中間・事後評価の依頼、評価結果の取りまとめ、集計及び評価謝金の支払い等

2) 中間評価ヒアリングにかかる業務

- ・各委員及び環境省との日程調整
- ・委員会での配付資料の準備補助
- ・会場設営
- ・委員の評価結果の集計及び浄書
- ・議事録の作成

II 地球環境等保全試験研究費

1) 地球環境等保全試験研究費関連業務

- ・中間・事後書面評価にかかる補助業務

2) 公害防止等試験研究費関連業務

・中間・事後ヒアリング評価にかかる業務

⑤ 平成 21 年度研究成果のとりまとめに関する業務

- 1) 環境研究総合推進費終了研究成果報告書
- 2) 環境研究総合推進費平成 21 年研究成果—中間成果報告集—
- 3) 環境研究総合推進費平成 21 年研究成果—成果概要集— (和英)

⑥ 終了課題成果報告会の運営

- 1) 平成 22 年度終了研究課題に関する成果報告会を 3 月 16 日に日本教育会館で開催するための準備を進めた。
- 2) 3 月 11 日の東北地方・太平洋沖地震発生による開催中止に伴い、会場キャンセル、出席予定委員及び登録参加者への連絡等事務処理を行った。

⑦ 平成 22 年度環境研究総合推進費パンフレット作成・印刷業務

平成 22 年度実施中課題の各課題代表者から提出された原稿を取りまとめ、デザイン・レイアウトを検討し、和文・英文パンフレットの印刷原稿を作成・印刷 (和文 3000 部、英文 1000 部) した。また、ホームページ掲載用の PDF ファイルを作成した。

⑧ 研究動向の把握

関係論文の収集や国内の関係学会に参加し、最新の研究動向について情報収集をおこない、環境省に報告した。

(3) 競争的研究資金制度・管理支援事業

環境省が実施する 3 つの競争的研究資金制度の一連の業務を、効果的かつ効率的に運用するため、プログラムディレクター 1 名を配置し、以下の業務を実施した。

① 競争的研究資金制度の運営に関する業務

- 1) プログラムオフィサーの監督・評価
- 2) 研究課題に関する評価結果の適切な反映、フォロー、研究実施者に対する指導・助言
- 3) 各競争的資金制度の研究課題の募集・評価・成果発表に対する提言・助言
- 4) 環境省関係各課室が評価委員会の評価結果を踏まえて行う採択課題選定に対する助言

② 競争的研究資金制度の改善に関する業務

- 1) 各競争的研究資金制度の改善に向けた提言・助言、特に評価手法の改善への提

言・助言

- 2) プログラムの方針決定、新規プログラムや新規領域の決定についての提言・助言
- 3) 各制度内の領域間・分野間・プログラム間等の資金の配分額や配分方式（個人研究とグループ研究等）の決定についての提言・助言
- 4) 追跡評価委員会への出席

③ 総合科学技術会議の対応に関する業務

- 1) 総合科学技術会議が開催する「競争的研究資金 PD 会議」への出席
- 2) 総合科学技術会議が行ういわゆる「SABC 評価」の際のプレゼンテーション

④ 上記の①～③のために必要な会議、打合せ、研究動向把握等の業務

- 1) 各競争的研究資金制度の評価委員会への出席
- 2) 環境省関係各課室との打合せ・意見調整、プログラムオフィサーとの打合せ、研究評価に関するヒアリング
- 3) 研究動向の把握
- 4) その他、関連して必要な業務

(4) 良好な感覚環境形成のためのまちづくり推進に関する業務

五感に心地よい環境を保全・創出するまちづくりを推進するため、以下の業務を実施した。

① 「五感で楽しむまち大賞」及び「五感で楽しむまち写真大賞」の実施

国内で地域の自然、文化等を五感で感じられるまちづくりを募集する「五感で楽しむまち大賞」と、地域の自然、文化等を五感で感じられる場所の写真を募集する「五感で楽しむまち写真大賞」を平成 22 年 10 月 29 日（金）から 12 月 13 日（月）まで行い、まち大賞 47 件、写真大賞 123 点の応募を集めた。

環境検定合格者によるウェブ投票及び審査会を経て、まち大賞は「環境大臣賞」「エコピープル賞」「環境カオリスト賞」「エコツーリズム検定賞」「審査委員特別賞」がそれぞれ 1 点、写真大賞は最優秀賞 1 点、優秀賞 8 点が選定された。

有識者による検討会は、2 回開催した。

第 1 回検討会：平成 22 年 10 月 5 日（火）ホテルグランドヒル市ヶ谷

第 2 回検討会：平成 23 年 2 月 2 日（水）三会堂ビル

② 「五感で楽しむまちフォーラム」の開催

五感を活かしたまちづくりの普及啓発を目的としたフォーラムを開催すると同時に、「五感で楽しむまち大賞/写真大賞」の入賞取組及び作品の表彰を実施した。

日 時：平成23年3月8日（火）13:30～16:30

会 場：新宿明治安田生命ホール

参加者数：約160名

（5）地球温暖化対策技術開発事業等管理・選定等委託業務

地球温暖化対策技術開発等事業において、適正な技術開発管理を通じて、科学的側面から責任をもちうる事業体制を構築することを目的として、以下の業務を実施した。

① 技術開発管理業務

本事業を円滑に実施するためにプログラムオフィサーを1名配置し、以下の業務を行った。

- 1) 平成23年度新規課題採択の支援業務
- 2) 実施課題の管理業務
- 3) 終了課題のフォローアップ

② 広報業務

事業の成果をより広く国民に周知するため、以下の業務を行った。

1) パンフレット作成

対象：関係者、一般

部数：2000部

2) 成果発表会の開催

環境省が実施する成果発表会に際し、日程調整・案内、資料等の作成、会場の手配・設営、飲料等の準備、傍聴受付、委員等への旅費・謝金の支払い等、開催に係る業務を実施した。

日時：平成23年1月13日（木）16:00～18:00

場所：アルカディア市ヶ谷 5階「大雪」

傍聴参加者数：106人

③ 技術開発動向把握業務

類似技術開発の最新の動向を把握するため、次世代自動車、省エネ住宅・オフィス等、再生可能エネルギー等、バイオマス・循環資源の各分野につき関連する学会に参加し、

情報収集を行った。

④ 地球温暖化対策技術開発事業の審査・評価に係る情報の抽出・収集・整理

平成23年度地球温暖化対策技術開発事業の公募により提案されるエネルギー起源二酸化炭素排出量の削減に資する各種技術について、各課題における二酸化炭素削減効果や経済性、実用化の見込み等を把握した上で、応募課題から評価に必要な、技術的情報の抽出・収集・整理を行った。

⑤ 地球温暖化対策技術開発評価委員会及び分科会の資料作成等、会議の運営

平成23年度新規応募課題及び継続実施課題、終了課題の選定・審査・評価を行うために、環境省が設置する地球温暖化対策技術開発評価委員会及び同分科会の開催に際し、新規・継続課題の審査結果集計表、過去の二酸化炭素排出抑制対策事業費を活用した各温暖化対策事業の実績調査等、必要な情報を抽出・収集・解析し、それらの解析結果について、会議資料等の用途に使用可能な状態までの整理を行い、環境省へ適宜提供した。また、各会議の開催に係る補助業務を行った。